

音声認識自走ロボット

ドロンくんPRO

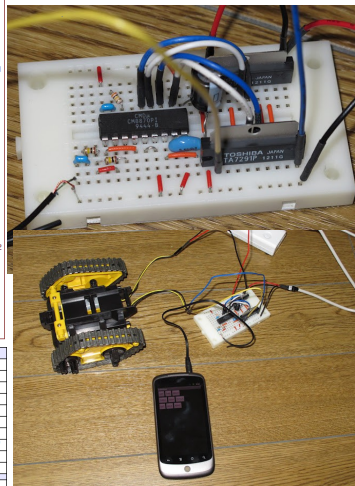
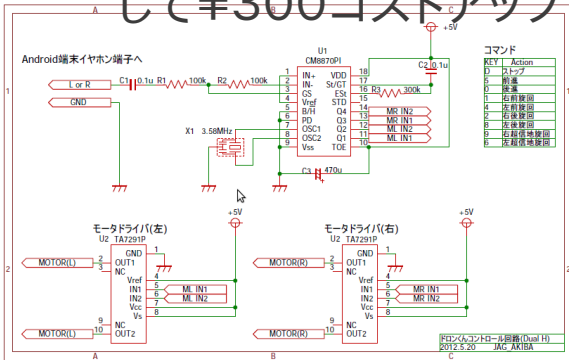
小学生などでも製作できるAndroidスマートフォンを搭載した学習用ロボットドロンくんは、各地でセミナー、ワークショップ、レースなども行われています。秋葉原支部ロボット部ではドロンくん規約を守りつつ、秋葉原支部で使い慣れたモータドライバICを搭載し、組立てを簡単化、安定化したものをプロフェッショナル版として作成しました。

オリジナル版



トランジスタ回路

モータドライバ使用に変更して¥300コストアップ



LRモータコントロール

前後進+ステアリングモータコントロール

品名	単価	個数	金額	備考
DTMFレシーバ	CM8870P1	300	1	300 秋月 I-01631 2脚入り、セラロック付き
3.58MHz セラロック		0	1	0
ブレッドボード		150	1	150 秋月 P-00313 上記に付属
フレットボード・ジャンパーワイヤ	EIC-J-L	300	1	300 秋月 P-00288
100Ω抵抗		4	2	10千円
300Ω抵抗		0	1	0千円
0.1μF セラミックコンデンサ		10	2	20千円
470μF電解コンデンサ		20	1	20千円
イヤホンマイク(3.5mm)		100	1	100 100Pショップ 切替して使用。
TA7291P		300	1	300 秋月 I-02001 2脚入り
合計金額			1210	



同じICを利用したAKIHABARA ROBOT SHIELDに発展学習もし易い点も魅力。

¥1,000以下のラジコンカーを改造して搭載すればシャーシ部分の材料費コストダウンとなり、総材料費¥2,000未満での製作も可能に



- ドロンくん規約第1条 スマホを搭載して自走すること 1.0
- ドロンくん規約第2条 オーディオケーブルで接続されていること 1.0
- ドロンくん規約第3条 クラウドを利用できること 1.0
- ドロンくん規約第4条 ブレッドボードに回路を実装していること 0.5
- ドロンくん規約第5条 製作実費3500円以下であること 0.5
- ドロンくん規約第6条 オープンソースであること 1.0